

第 41 回土木計画学研究発表会（春大会）：2010. 6. 5～6（名古屋工業大学）
企画セッション討議内容の記録

セッション名：応用一般均衡モデルの土木計画学への貢献と今後	
日付：6月6日（日）曜日，セッション時間：13:15～14:45	
オーガナイザー名（所属）：小池淳司（鳥取大学）	
討議内容	<p>空間的応用一般均衡分析を適用した都市高速道路の整備効果計測：樋野（IBS） 港湾都市の産業構造を考慮した空間経済分析：坂井（東京大学） 道路投資による空間的な経済効果の帰着状況～通常時と被災時の比較分析～：佐藤（復建） 道路ネットワーク寸断による経済的影響を分析する SCGEUE 統合モデルの開発：土屋（長岡） アジア高速鉄道整備のマクロ経済・環境に及ぼす影響の比較分析：宮下（三菱 UFJ）</p> <p>SCGE モデルの実証的研究を目指して，より広範囲な応用に関する発表がなされた．各発表に対する細かい討議があり，最終的には，今後の課題として以下のものが挙げられた．</p> <ol style="list-style-type: none">① アウトプットのさらなる利用方法② 社会資本整備のモデリング化の技術③ 長期均衡状態の定量評価的解釈④ 集計問題⑤ 交通企業のモデリング
	である．

